



第632号

発行所

天理教静岡教務支庁  
〒425-0013  
焼津市岡当日1番地

TEL (054) 626-1333  
FAX (054) 628-4615  
Email:skyou@live.jp

教区報は、下のQRコードより、スマートフォン等で、ご覧頂けます。



### 教区長挨拶

## 静岡教区新人事にあたり

静岡教区管内の教会長、ご夫妻を始め、よく信者の皆様方におかれましては、日頃はそれぞれのお立場から教区・支部活動の上にご丹精をくださり、誠にありがとうございます。この三月二十六日、おちばよりご任命をいただき、引き続き教区長として新たに三年を務めさせていただきますこととなりました。皆様には変わらぬお力添えの程、よろしくお願ひ申し上げます。

現在、NHKの大河ドラマで『鎌倉殿の13人』が放映されていますが、物語序盤の舞台は伊豆です。五年前の『おんな城主 直虎』は浜松が舞台でした。歴史と伝統ある人気番組に郷土が取り上げられるのは、いつも嬉しいことです。

とここで、苦痛や苦勞もそれが過ぎてしまえば、その痛みや苦しみをすっかり忘れてしまふことの例えに、「のど元過ぎれば熱さ忘れる」ということわざがあります。この言葉は短歌の下の句で、「伊豆の国蛭ヶ小島（ひるがこじま）の甘酒は」という上の句に続く文句であるとか聞かされたことがあります。

朝から無下に扱われ、肩を落として屋敷を後にします。その時に詠まれたのが、「伊豆の国蛭ヶ小島の甘酒はのど元過ぎれば熱さ忘れる」という歌だったそうです。苦境の時に恩を受けた恩人のことを、時とともに忘れてしまったのです。恩を忘れた頼朝がその後どうなったのかは、皆さんご存知の通りであります。この話は、蛭ヶ小島にあるおみやげ屋のご主人から聞いたもので、真偽のほどは定かではありませんが、よくできた話だと思えました。

近頃はお道だけでなく、世の中でも「感謝」という言葉をしばしば耳にするようになりました。この「感謝」の気持ちがいつまでも消えずに心にあると、やがてそれは「恩」になります。感謝は「ありがとう」の一言で完結し、やがて消えてしまいがちですが、恩人という言葉があるように、恩は生涯残ります。また、恩返しという言葉があるように、恩には報いる行いが伴います。私は、感謝と恩は似て非なるものだと思うので

私たちの信仰初代であり、今の私たちにつながる道なのです。これからの三年は、教祖百四十年祭へ続く三年であります。我が家、我が教会がこまごま御存命の教祖に結構にお連れ通りいただいた御恩、今もなお親心にお導きくださる御恩を胸に、教祖にお受け取りいただけるような具体的な心を定めて、来年一月の年祭活動のスタートラインに立たせていただきます。そして地域教友が勇まらせ合い、たすけ合いながら、仕切って御恩報じの道を歩ませていただきます。世界に様々な事情をお見せいただく中ではありますが、スタートラインは確実に近づいています。おちばの声を頼りに、一手一つに進ませていただきます。存じます。何卒よろしくお願ひいたします。

教区長 鈴木道輝

# 静岡教区新人事発令

三月二十六日、鈴木道輝氏（嶽東大教会長）が静岡教区長に再任された。これに伴い、三月二十七日付、静岡教区の新人事が発令された。

教区長 鈴木道輝 支部長（十一名）

相談役 諸井慶一郎 伊豆 山本真司

鈴木邦廣 駿豆 田淵保明

主事（十六名）

鈴木理一 東駿 山梨正治

諸井道隆 中駿東 梅田 聡

松浦一郎 西駿 木下雅利

小栗真人 中遠 杉岡信宏

村田孝浩 西遠 太田文慶

小栗多喜子 北遠 杉本和弘

小野将児 北遠 塩崎道夫

永井 磨 地方委員（三十九名）

鈴木芳秋 東伊豆 永井道廣

大石道忠 伊豆 田村和徳

夏目歳継 駿豆 野宮直純

田中俊哉 伊豆 鈴木信二

芹澤常太郎 駿豆 西川利道

郷内一衛 伊豆 仁藤初男

杉岡信宏 伊豆 鈴木豊明

大谷安則 伊豆 杉本喜道

書記 守屋真和 富士 鈴木明廣

芹澤広和 東駿 井口澄弘

澤西知春 酒井一男

中駿東

小川豊明  
岸端清隆  
清水道男

中駿西

土屋道直  
松下正二  
齊藤 勉

西駿

山崎真也  
清水徳継  
塚本直昭

中遠

大池正志  
岩本政之  
石澤太一郎

西遠

浅井宏心  
中山信行  
夏目歳継

北遠

花田寿郎  
長田勇生  
長村勝博

## 各会・各部の人事

教区長室長 芹澤常太郎

会計室長 永井 磨

会計監査

松浦一郎  
山梨正治

予算委員会

委員長 芹澤常太郎

支庁舎管理掛

主任 郷内一衛

一れつ会教区委員会

委員長 教区長

天理時報普及・手配り推進

委員長 教区長

副委員長 大谷安則

事務局長 鈴木 悟

輸送部担当

名簿管理室

責任者 芹澤常太郎

担当者 守屋真和

集会員 大池藤次

教誨師 鈴木顕太郎

災害対策委員会

委員長 鈴木理一

災害救援ひのきしん隊

隊長 山口志朗

教務部長 鈴木芳秋

布教部長 大谷安則

啓発委員会

委員長 松浦一郎

福祉部長

田中俊哉

三連盟

委員長 桑高益男

道友社

代表社友 鈴木義信

教区報

編集長 芹澤広和

婦人会主任

鈴木佳苗

青年会委員長

大池元教

少年会団長

村田孝浩

学生担当委員会

委員長 岡野多吉

道の教職員の集い

委員長 田中裕二

おうた合唱団

団長 梅田 聡

# 新支部長紹介



駿豆支部  
田淵保明(新)  
(東本・本翠)



伊豆支部  
山本真司(新)  
(嶽東・西伊豆)



東伊豆支部  
長澤三郎(再)  
(嶽東・伊東)



中駿西支部  
木下雅利(新)  
(秩父・駿静)



中駿東支部  
梅田 聡(新)  
(山名・中静)



東駿支部  
山梨正治(再)  
(東・倉澤)



富士支部  
佐野康弘(再)  
(山名・田子浦)



北遠支部  
塩崎道夫(再)  
(山名・二俣)



西遠支部  
杉本和弘(新)  
(西成・西大濱)



中遠支部  
太田文慶(新)  
(山名・遠本)



西駿支部  
杉岡信宏(新)  
(錦江・錦行)



## 立教百八十五年春の学生おちばがえり

した。さて、「〇させて頂く」とはよく言いますが、学生担当委員会としましては式典に学生さんと一緒に参加できたことが本当に嬉しく有り難く、正にスタッフの気持ちは「共に参加させて頂くんだ」の感謝の気持ちでいっぱいでした。現在、教区学生会は委員長など執行部が不在でしばらくの間活動ができておりませんでした。しかし、今年の春学には「何としても、絶対に参加者を御守護頂くぞ!」と、スタッフが強くと強い思いを持って臨み、支部例会への巡回や対象者へ直接会って声掛けするなど教区内を飛び回りました。その結果、貴重な参加者をいただきました。紙面上ではありませんが、スタッフの皆さんには改めてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

言うまでもなく、学生会はお道の育成活動には欠かせません。多感な時期にお道の教えに触れることは、きつと将来立派な用木に育つきっかけや土台になると思います。生涯の教友もできます。

今、教区の学担には、本部で活躍する方や学生会委員長を経験した方など、とにかく素晴らしいスタッフが集まっています。何より、学生会を盛り上げたいという熱い気持ちを持っています。

是非お近くに学生さんがおりましたら、教区学生会に送り出して頂きたいと思えます。これからも学生会活動にご理解とご協力をお願い致します

本年三月二十八日午前十時から、本部中庭にて「立教百八十五年春の学生おちばがえり」式典が開催。静岡教区は五名の学生と共に参加させて頂きました。

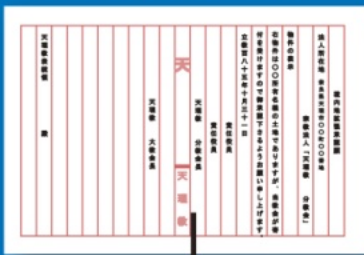
教区管内の先生方には、対象となる学生さんへの声掛け、更にはコロナ禍の中での活動へのご理解ご協力を頂戴致します。誠にありがとうございます。



立教 184 年 11 月 1 日より、

# 法人願書の書式が 変わりました。

従来) 十行罫紙に墨書



新) パソコンで作成、プリント



※4月1日より、十行罫紙による縦書き願書は、受け付けていません。

## 「変更の対象となる願書」

今回、書式が変更された願書は「法人願書」のみです。**任命や移転、建築他といった事情願書（教務課扱い）**は今までどおり十行罫紙に墨書で作成していただきます。

「法人願書」とは宗教法人の教会が、法人規則に沿った手続きに必要な承認を得るために出願する願書で、次のような種類があります。境内地や建物の「取得」「処分」「交換」や、「借入」「担保」「債務保証」、そして「規則変更」「合併」「再下付」「取り下げ」「更正」など。

## 「主な変更点」

- ①十行罫紙は使用せず、A 版用紙を使用します。また墨書ではなく記載内容をパソコンで作成し印刷するか、書式をコピーして空欄に必要事項を記入する形で作成します。
  - ②願書・添付書類・幣帛料をクリアファイルにまとめて出願して下さい。
  - ③添付書類もすべて A 版用紙を使用して下さい。
- 加えて願書は訂正のないよう丁寧に作成して下さい。詳しくは「宗教法人関係願書・届書式」小冊子をご覧ください。

## 「書式データの取得方法」

各願書・届の書式は PC データ (WORD 形式・PDF 形式) で、次のような方法で取得していただけます。

- ①インターネットを通じて  
以下の URL 又は QR コードからウェブ上のデータ書庫にアクセスし、必要に応じてダウンロードして下さい。

データ書庫 (DROP BOX)  
URL : <https://bit.ly/3ncSCSK>



- ②E メール、USB  
宗教法人課メールアドレス  
hojinka@tenrikyo.or.jp  
または、当課まで USB メモリを持ってお越し下さい。

### お問合せについて

法人願書に関するお問合せは各直属・教区法人担当者、または宗教法人課まで。  
Tel 0743-63-1511 (音声案内③)  
注意  
パソコンやインターネットの操作方法についてはお答えいたしかねますので、ご了承下さい。